

受益者の皆様へ

毎々格別のお引立てにあずかり厚く御礼申し上げます。

さて、「米ドル建ゴールドマン・サックス社債／米国テクノロジー株式指数ファンド(早期償還条項付)2024-08」は、2025年9月25日に第1期決算を行いました。

当ファンドはゴールドマン・サックス・ファイナンス・コープ・インターナショナルが発行する米ドル建債券(以下「ゴールドマン・サックス外債」ということがあります。))に投資し、原則として設定日から約5年後のゴールドマン・サックス外債の満期償還時まで保有しつつ、安定した収益の確保と信託財産の成長を図ることを目的として運用を行います。当作成対象期間につきましてもそれに沿った運用を行いました。

ここに運用状況をご報告申し上げます。

今後ともより一層のご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

当ファンドは特化型運用を行います。

当ファンドは、約款において運用報告書(全体版)に記載すべき事項を、電磁的方法によりご提供する旨を定めており、以下の方法でご覧いただけます。なお、書面をご要望の場合は、販売会社までお問い合わせください。

<閲覧方法>

右記URL⇒「ファンド情報」⇒「ファンド情報トップ」⇒当ファンド名を選択または検索⇒「各種資料のダウンロード」⇒「運用報告書(全体版)」を選択

交付運用報告書

米ドル建ゴールドマン・サックス社債／ 米国テクノロジー株式指数ファンド (早期償還条項付) 2024-08 愛称:アメリカンギフト

商品分類(単位型投信／海外／資産複合／特殊型(条件付運用型))

第1期(決算日 2025年9月25日)
作成対象期間: 2024年8月23日～2025年9月25日

第1期末(2025年9月25日)	
基準価額	10,424円
純資産総額	2,203百万円
第1期	
騰落率	4.2%
分配金合計	0円

(注) 騰落率は収益分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したものです。



T&Dアセットマネジメント株式会社

〒108-0014 東京都港区芝5-36-7

お問い合わせ先

投信営業部 03-6722-4810

(受付時間: 営業日の午前9時～午後5時)

<https://www.tdasstet.co.jp/>

運用経過

基準価額等の推移



設定日：10,000円

第1期末：10,424円(既払分配金0円)

騰落率：4.2%(分配金再投資ベース)

- (注) 分配金再投資基準価額は、設定日(2024年8月23日)の値が基準価額と同一となるように指数化しています。
- (注) 分配金再投資基準価額は、収益分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。
- (注) 単位型投資信託は実際には分配金は再投資されませんのでご注意ください。
- (注) 設定日の基準価額および純資産総額には、当初元本を用いております。

基準価額の主な変動要因

基準価額(分配金再投資ベース)は上昇しました。米国金利が低下したことや、米国テクノロジー株式指数(参照指数)が上昇したことにより、ファンドが投資対象とするゴールドマン・サックス外債の価格が上昇したことに加え、為替が円安米ドル高に動いたことから上昇しました。

ファンドは「特化型運用」を行います。一般社団法人投資信託協会の規則において、投資対象に支配的な銘柄が存在し、または存在することとなる可能性が高いものは、特化型ファンドと定められています。支配的な銘柄とは、寄与度(投資対象候補銘柄の時価総額に占める割合)が10%を超えるまたは超える可能性の高い銘柄をいいます。

1 万口当たりの費用明細

項目	当期		項目の概要
	2024/ 8 /23～2025/ 9 /25		
	金額	比率	
平均基準価額	10,032円		期中の平均基準価額です。
(a) 信託報酬 (投信会社) (販売会社) (受託会社)	108円 (53) (53) (2)	1.079% (0.527) (0.527) (0.024)	(a) 信託報酬＝計算口当たり計理上元本×信託報酬率 委託した資金の運用の対価 購入後の情報提供、運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理等の対価 運用財産の保管および管理、投信会社からの指図の実行等の対価
(b) その他費用 (保管費用) (監査費用)	4 (2) (2)	0.040 (0.024) (0.016)	(b) その他費用＝期中のその他費用／期中の平均受益権口数 保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送金・資産の移転等に要する費用 監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
合計	112	1.119	

(注) 期中の費用(消費税等のかかるものは消費税等を含む)は、解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

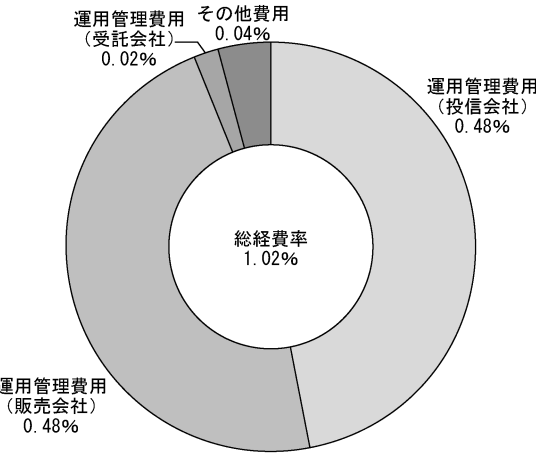
(注) 平均基準価額の円未満は切捨て、それ以外の各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 「比率」欄は1万口当たりのそれぞれの費用金額(円未満の端数を含む)を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

(参考情報)

■総経費率

当期中の運用・管理にかかった費用の総額(原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。)を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額(1口当たり)を乗じた数で除した総経費率(年率)は、1.02%です。



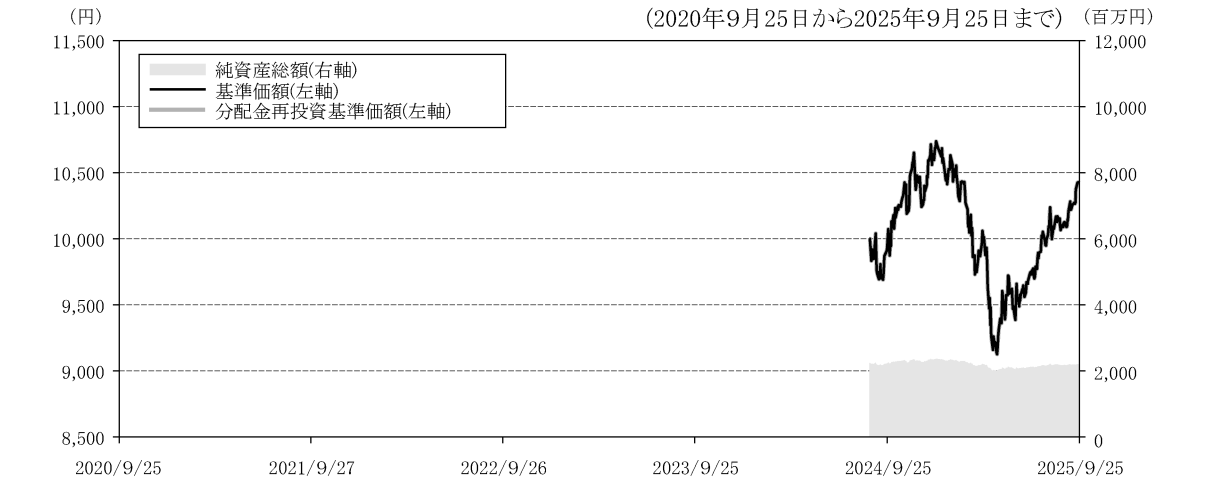
(注) 費用は、1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

最近 5 年間の基準価額等の推移



(注) 分配金再投資基準価額は、設定日(2024年8月23日)の値が基準価額と同一となるように指数化しています。

(注) 分配金再投資基準価額は、収益分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

(注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。

(注) 単位型投資信託は実際には分配金は再投資されませんのでご注意ください。

	2024年8月23日 設定日	2025年9月25日 決算日
基準価額(分配落) (円)	10,000	10,424
期間分配金合計(税込み) (円)	—	0
分配金再投資基準価額の騰落率(%)	—	4.2
純資産総額 (百万円)	2,240	2,203

(注) 当ファンドは、特定の指数に連動すること、特定の指数を上回ることを目的として運用していないため、また、運用方針に対し適切な指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数を設定しておりません。

(注) 設定日の基準価額および純資産総額には、当初元本を用いております。

■ 株式市況

当期の米国株式市場は、設定日から2024年11月にかけては、米国の経済指標の改善、F R B (米連邦準備制度理事会)による金融緩和スタンスへの転換期待、米大統領選を巡る政策期待、中国の景気刺激策などを背景に堅調に推移しました。12月は、米中対立の再燃や米長期金利の高止まりが重しとなり、調整色が強まりました。2025年1月から3月は、トランプ米政権による関税強化や半導体規制を巡る懸念から相場は不安定となり、下落圧力が強まりましたが、堅調な企業業績や利下げ観測が下支えしました。4月から6月は、米中摩擦や関税交渉への思惑から乱高下しつつも、インフレ鈍化による過度な金融引締め懸念の後退を受けて上昇基調に転じました。7月から9月中旬にかけては、米雇用統計の改善や好調な企業決算、関税交渉への楽観、早期利下げ観測が支援材料となり、アップル、マイクロソフト、N V I D I Aなどの大型ハイテク株が牽引し、米国株式市場は上昇しました。

■ 金利市況

当期の米国金利は、設定日から2024年9月にかけては、F R Bの利下げ観測の高まりを受けて低下基調となりましたが、利下げ決定後は堅調な経済指標により低下幅が縮小しました。10月から2025年1月中旬までは、米国の財政改善期待や追加利下げ観測により低下する局面も見られましたが、関税引上げや移民政策強化によるインフレ懸念、想定以上の景気回復、F R Bが利下げに慎重姿勢なことなどから金利は上昇しました。1月下旬から4月は、弱い経済指標や相互関税の影響で世界経済の減速懸念が強まり、金利は低下基調となりました。5月から8月は、F O M Cで金融政策変更に関心が高まり、慎重な姿勢が見られたことや米中協議の進展、財政悪化懸念などが交錯し上下動を繰り返しましたが、早期利下げ観測が強まり低下しました。期末にかけてはF R Bの利下げ決定により金利は低下したものの、その後は一段の低下を促す材料に乏しく、小幅反発する展開となりました。

■ 為替市況

設定日から2024年9月中旬にかけては、米経済指標の悪化や日銀の利上げ観測を背景に、円高米ドル安が進行しました。9月下旬から11月にかけては、米利下げ観測の後退や政治的不透明感により米ドルが反発し円安となったものの、ウクライナ情勢の緊迫化や米政権の政策不安、日銀総裁の利上げに前向きな姿勢などを受け、再び米ドルは反落しました。12月から2025年2月にかけては、F R Bが金融緩和に慎重との見方や、日銀の利上げ見送りを受けて一時米ドルが反発しましたが、日米の金融政策の方向性の違いが意識され、再び米ドル安となりました。3月から6月にかけては、米国のインフレ懸念により米ドルが上昇したものの、スタグフレーション懸念や関税政策への警戒感、日米協議による円高圧力から円高基調となりました。7月から期末にかけては、堅調な米雇用統計(後に下方修正)を受けて米ドル高が進む場面もありましたが、米国の金融政策や政治リスクなどの影響で、一進一退の展開となりました。

当該投資信託のポートフォリオ

期を通じて、ゴールドマン・サックス外債を高位に組入れる運用を行いました。

ゴールドマン・サックス外債においては、参照指数の累積収益率に基づき決定される収益(以下「実績連動収益」といいます。)が支払われます。実績連動収益は、ゴールドマン・サックス外債の満期時に額面金額とともに支払われます。参照指数は設定日から当期末までの期間に4.4%上昇しました。

当該投資信託のベンチマークとの差異

当ファンドはベンチマークおよび参考指数がないため、本項目は記載しておりません。

分配金

1万口当たりの分配金(税込み)は当ファンドの商品性を勘案し、見送らせていただきました。収益分配に充てなかった利益は、信託財産中に留保し、運用の基本方針に基づいて運用いたします。

今後の運用方針

ゴールドマン・サックス外債の組入れを高位に保ちます。原則として設定日から約5年後の満期償還時までゴールドマン・サックス外債を保有することで、米ドルベースでの元本確保を目指します。

設定来の1万口当たりの基準価額が一定水準以上となった場合、安定運用に移行して繰上償還となります。なお、一定の水準は以下の通りです。

- ・ 設定日(2024年8月23日)から2025年8月22日まで・・・11,500円
- ・ 2025年8月23日から2026年8月22日まで・・・12,500円
- ・ 2026年8月23日から2027年8月22日まで・・・13,500円
- ・ 2027年8月23日から2028年8月22日まで・・・14,500円
- ・ 2028年8月23日から2029年8月15日まで・・・15,500円

※2029年8月16日以降は、基準価額の水準に応じた繰上償還は行いません。

※米ドルベースでの元本確保とは、円建の当初の投資金額を米ドル換算した投資元本を償還時に確保することをいいます。

※元本に購入時手数料は含みません。

※ゴールドマン・サックス外債に対する為替ヘッジは行いませんので、ファンド償還時の為替レートによっては円での投資金額を下回る可能性があります。



お知らせ



2025年4月1日適用で、投資信託及び投資法人に関する法律第14条の改正に伴い、信託約款の変更を行いました。

2023年11月に「投資信託及び投資法人に関する法律」の一部改正が行われ、交付運用報告書については書面交付を原則としていた規定が変更されました。本件により、デジタル化の推進を通じて顧客の利便性向上を図るとともに、ペーパーレス化による地球環境の保全など、サステナビリティへの貢献に繋がるものと捉えております。今後も顧客本位の業務運営を確保しつつ、電磁的方法での情報提供を進めてまいります。

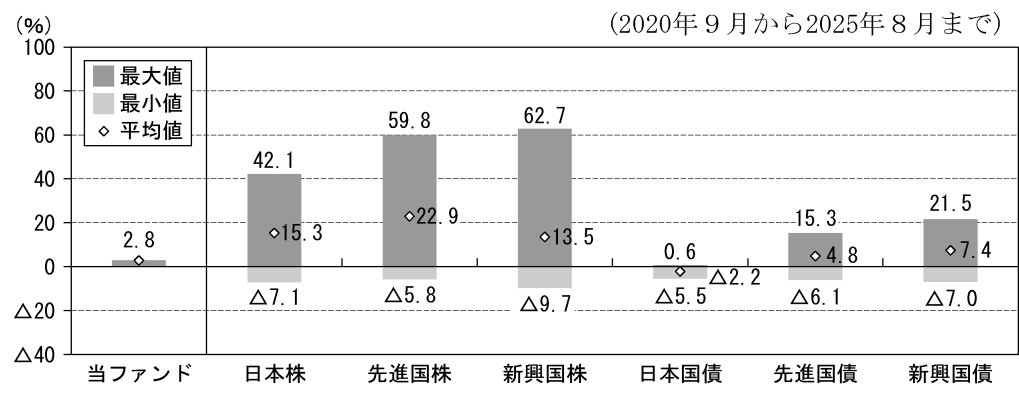
当該投資信託の概要

商 品 分 類	単位型投信／海外／資産複合／特殊型(条件付運用型)
信 託 期 間	2024年8月23日から2029年9月25日まで
運 用 方 針	安定した収益の確保と信託財産の成長を図ることを目的として運用を行います。
主 要 運 用 対 象	・ ゴールドマン・サックス・ファイナンス・コープ・インターナショナルが発行する米ドル建債券を主要投資対象とします。 ・ ゴールドマン・サックス・ファイナンス・コープ・インターナショナルが発行する米ドル建債券*1(以下「ゴールドマン・サックス外債」ということがあります。)に投資し、原則として設定日から約5年後のゴールドマン・サックス外債の満期償還時まで保有します。ただし、ファンドが繰上償還された場合や、投資する債券の発行体等が債務不履行となった場合等には、満期償還時まで保有しない場合があります。 ＊1 ジャーニー籍のゴールドマン・サックス・ファイナンス・コープ・インターナショナルが発行し、ザ・ゴールドマン・サックス・グループ・インクによる保証が付されます。 ・ ファンドは、設定来の1万口当たりの基準価額が別に定める一定水準以上となった場合、安定運用に移行して繰上償還となります。 ・ ゴールドマン・サックス外債の組入比率は、高位とすることを基本とします。また、原則として銘柄入替は行いません。 ・ ゴールドマン・サックス外債においては、参照指数*2の累積収益率に基づき決定される収益(以下「実績連動収益」といいます。)が支払われます。実績連動収益は、ゴールドマン・サックス外債の満期時に額面金額とともに支払われます。 ＊2 参照指数は、ゴールドマン・サックス・インターナショナルが指数スポンサーを務める米国テクノロジー株式指数(ナスダック100指数先物にボラティリティ・コントロールを適用した指数)です。 ・ 実績連動収益は、米国テクノロジー株式指数の累積収益率に基づき決定され、累積収益率がマイナスの場合は、実績連動収益はゼロとなります。 ・ ゴールドマン・サックス外債は、割引債として発行されます。 ・ 米国テクノロジー株式指数の実質的な投資対象は、株価指数先物です。 ・ 組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジは行いません。 ・ 資金動向や市況動向等によっては、上記のような運用が行われない場合があります。
組 入 制 限	・ ゴールドマン・サックス外債の投資割合には、制限を設けません。 ・ 株式への投資割合は、信託財産の純資産総額の5%以下とします。 ・ 投資信託証券(上場投資信託受益証券を除きます。)への投資割合は、信託財産の純資産総額の5%以下とします。 ・ 外貨建資産への投資割合には、制限を設けません。 ・ デリバティブ取引の利用は、ヘッジ目的に限定しません。
分 配 方 針	毎決算時(9月25日、休業日の場合は翌営業日)に分配を行います。 分配金額は、委託会社が基準価額水準、市況動向等を勘案して決定します。ただし、必ず分配を行うものではありません。

米ドル建ゴールドマン・サックス社債／米国テクノロジー株式指数ファンド(早期償還条項付)2024-08(以下「当ファンド」)は、T&Dアセットマネジメント株式会社(以下「使用権者」といいます。)またはその関連会社により運用されており、使用権者の商品です。「ゴールドマン・サックス」は、Goldman Sachs & Co. LLC(以下「使用許諾者」といいます。)の日本およびその他の国において登録された商標です。使用許諾者の商標は、使用許諾者の使用許諾により使用されています。使用許諾者およびその関連会社(以下「G S」といいます。)は、使用権者またはその関係もしくは関連する会社もしくは当ファンドを含みますがこれに限られない金融商品、投資信託もしくは指数と、何らの関係、関与または関連がありません。G Sは、当ファンドの設定または販売に責任を負わず、また参加していません。G Sおよびその使用許諾者は、有価証券一般もしくは当ファンドへの投資または当ファンドが市場一般もしくは指数実績を追跡する能力の有無もしくは投資リターンを提供する能力の有無に関して、当ファンドの保有者または公衆に対し、明示的か黙示的かを問わず、いかなる表明または保証も行いません。使用許諾者と使用権者の関係は、当ファンドに関する使用許諾者の商標の使用許諾に限られます。G Sは、当ファンドの価格または金額、当ファンドの発行または販売の時期、当ファンドを現金化し、引き渡したまたは償還する(場合によります。)ための等式の決定または計算に、責任を負わず、また関与していません。使用許諾者は、当ファンドの管理事務、マーケティングまたは取引に関して義務および責任を負いません。投資商品は、正確に指数実績を追跡すること、または投資リターンを提供することについて、保証はありません。使用許諾者は投資助言者ではなく、そのため、いかなる有価証券についても購入、売却または保有の推奨を行わず、また投資助言も行っていない。G Sは、当ファンドを支持し、承認し、スポンサーとなり、または販売促進することではなく、当ファンドまたは他の金融商品および使用権者もしくはその関連会社の当ファンドに投資することを推奨することを行いません。

【参考情報】

■ 代表的な資産クラスとの騰落率の比較



- (注) 上記は、2020年9月から2025年8月の5年間の各月末における直近1年間騰落率の平均・最大・最小を、当ファンドおよび他の代表的な資産クラスについて表示したものです。
- (注) 当ファンドおよび代表的な資産クラスを定量的に比較できるように作成したものであり、全ての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。
- (注) 騰落率は直近月末から60ヵ月遡って算出した結果であり、決算日に対応した数値とは異なります。
- (注) 当ファンドは分配金再投資基準価額の騰落率です。
- (注) 単位型投資信託は実際には分配金は再投資されませんのでご注意ください。
- (注) 当ファンドは2024年8月23日に設定されたため、2025年8月以降のデータをもとに表示しております。

○各資産クラスの指数

- 日本株・・・東証株価指数(TOPIX)(配当込み)※1
- 先進国株・・・MSCIコクサイ・インデックス(配当込み、円ベース)※2
- 新興国株・・・MSCIエマージング・マーケット・インデックス(配当込み、円ベース)※3
- 日本国債・・・NOMURA-BPI国債※4
- 先進国債・・・FTSE世界国債インデックス(除く日本、円ベース)※5
- 新興国債・・・JPモルガンGBI-EMグローバル・ディバーシファイド(円ベース)※6

(注) 海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円ベースの指数を採用しております。

- ※1 東証株価指数(TOPIX)とは、株式会社JPX総研が算出する株価指数で、日本の株式市場を広範に網羅するとともに、投資対象としての機能性を有するマーケット・ベンチマークです。TOPIXに関する一切の知的財産権その他一切の権利は株式会社JPX総研に帰属します。
- ※2 MSCIコクサイ・インデックスはMSCIが開発した株価指数で、日本を除く世界の先進国の株式市場の動きを捉える指数です。同指数に関する著作権、知的財産権その他の一切の権利はMSCIに帰属します。
- ※3 MSCIエマージング・マーケット・インデックスは、MSCIが開発した新興国の株式市場の動きを捉える株価指数です。同指数に関する著作権、知的財産権その他の一切の権利はMSCIに帰属します。
- ※4 NOMURA-BPI国債は、野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社が公表している指数で、日本で発行されている公募利付国債の市場全体を表す投資収益指数です。その知的財産権は野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社に帰属します。なお、野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社は、対象インデックスを用いて行われるT&Dアセットマネジメント株式会社の事業活動・サービスに関し一切責任を負いません。
- ※5 FTSE世界国債インデックス(除く日本、円ベース)は、FTSE Fixed Income LLCにより運営されている債券インデックスです。FTSE Fixed Income LLCは、本ファンドのスポンサーではなく、本ファンドの推奨、販売あるいは販売促進を行っておりません。このインデックスのデータは、情報提供のみを目的としており、FTSE Fixed Income LLCは、当該データの正確性および完全性を保証せず、またデータの誤謬、脱漏または遅延につき何ら責任を負いません。このインデックスに対する著作権等の知的財産その他一切の権利はFTSE Fixed Income LLCに帰属します。
- ※6 JPモルガンGBI-EMグローバル・ディバーシファイドは、JPモルガン社が算出し公表している、現地通貨建てのエマージング・マーケット債で構成されている指数です。同指数の著作権はJPモルガン社に帰属します。

当該投資信託のデータ

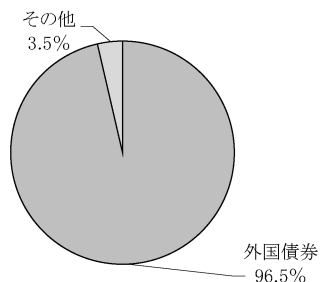
当該ファンドの組入資産の内容

■ 組入銘柄

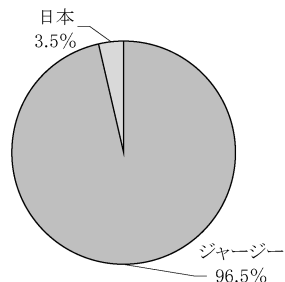
(組入銘柄数：1銘柄)

当期末 2025年9月25日			
銘柄名	種類	償還日	比率
5-year USD Denominated Notes Linked to US Technology Equity Futures Volatility Target Strategy (ゴールドマン・サックス外債)	社債	2029/8/23	96.5%

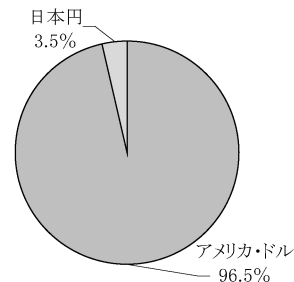
■ 資産別配分



■ 国別配分



■ 通貨別配分



(注) 組入銘柄および各配分の比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

(注) 国別配分は発行国を表示しております。

※詳細な情報等につきましては、運用報告書(全体版)でご覧いただけます。

純資産等

項目	当期末 2025年9月25日
純資産総額	2,203,039,945円
受益権総口数	2,113,368,392口
1万口当たり基準価額	10,424円

(注) 設定時元本額は2,240,740,230円、期中における解約元本額は127,371,838円です。



T&Dアセットマネジメント株式会社